

日交研シリーズ A-768

平成 30 年度自主研究プロジェクト

「ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービス実施のための条件に関する研究」

刊行：2020 年 3 月

ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービスの実施条件に関する研究  
Study on the implementation requirement about new logistics services by the Change of Lifestyle

主査：岩尾 詠一郎（専修大学 商学部）

Eiichiro IWAO

要 旨

近年の少子高齢化による、過疎化問題や高齢者の介護問題や医療問題、生活の 24 時間化、国際化、ICT 化などにより、人々のライフスタイルが変化している。

この少子高齢化、生活の 24 時間化、国際化、ICT 化は、小口貨物の多頻度輸配送の増加等の物流サービスに影響を与えることがある。そのため、ライフスタイルの変化により、新たな物流サービスが必要となる場合もある。このとき、新たな物流サービスを実施する場合に必要な条件を明らかにしていく必要がある。

そこで、本研究では、具体的な新たな物流サービスの実施事例から、新たな物流サービスを実施するときに必要な条件を明らかにする。

具体的には、下記の手順によって研究をおこなった。

1 章の『はじめに』では、本研究の背景と目的と手順について述べた。

2 章の『消費者のライフスタイルの変化に影響を与える社会構造の変化と情報技術の進展』では、消費者のライフスタイルに変化を与える社会構造の変化と情報技術の進展の実態を、定量データをもとに明らかにした。

3 章の『ライフスタイルの変化に応じた新しい物流サービス』では、新しい物流サービスの定義と分類方法を示すとともに、新しい物流サービス実施による受発注・入出荷・輸配送の変化を明らかにした。

4 章の『事例から見たライフスタイルの変化に応じた物流サービスを実施するための条件の検討』では、大都市、地方都市、中山間地域別に、それぞれの地域性、物流上の課題を示し、物流上の課題を解決するための新しい物流サービスの実施要件を事例をもとに明らかにした。

キーワード：ライフスタイル、物流サービス、大都市、地方都市、中山間地域

Keywords : Life style、logistics services、Bic Cities、Local Cities、Hilly and Mountainous Area